

湿度の高い梅雨の時期にはレジオネラ症に注意！！

レジオネラ症とは？

レジオネラ属菌が原因でおこる感染症のひとつです。レジオネラ属菌に汚染された目に見えないほど細かい水滴を吸い込むことで感染します。人から人への感染はありません。

健康な人にもかかりますが、幼児や高齢者、他の病気などにより抵抗力が低下している人に発病のおそれが高いといわれています。

レジオネラ属菌：水中や土壌中など自然界に広く存在する細菌。

このレジオネラ属菌が、消毒されていない水や入れ替わりの少ない水、水温 20℃～50℃前後の水に混入したとき増殖するおそれがある。(給水・給湯設備、循環器浴槽、加湿器等)

症状・潜伏期間は？

レジオネラ症には劇症型のレジオネラ肺炎と一過性のポンティアック熱の2つの型があります。

●レジオネラ肺炎

症状： 発熱、咳、痰、呼吸困難とともに頭痛、筋肉痛、下痢、意識障害、精神神経系症状など。
また重症となった場合、死亡例も報告されている。

潜伏期間： 2～10日 (平均4～5日)

●ポンティアック熱

症状： 発熱、咳、頭痛、筋肉痛。呼吸器症状は軽微。
潜伏期間： 1～2日 (平均38時間)



家庭での予防方法は？

レジオネラ属菌は自然界に広く存在しており、完全に取り除くことは困難です。

予防するためには、感染源のレジオネラ属菌の増殖を防ぐことが重要です。

お風呂

家庭でのお風呂では毎日お湯を入れ替えている場合は問題ないですが、お湯を循環濾過して長期間使用する24時間風呂の場合は増殖する可能性があります。
浴槽に入る前に体の汚れを落として入る、お湯は適宜取り換え、浴槽の清掃を行うなど清潔に保ちましょう。

加湿器

水を溜めておくタンクの管理が悪いと増殖することがあります。
水はこまめに取り換え、使用する水も水道水など衛生的な水を使用、定期的にノズルの清掃、タンクの清浄を行いましょう。